

肘OCD: 骨軟骨柱移植術を受けられる患者さんへ

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院: 1病日	2病日		3病日	4病日	5~6病日	7~11病日: 退院	【退院後の生活について】
	手術1日前	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3~4日目	手術後5~9日目	
達成目標	・手術後の経過について理解できる		・痛みによる苦痛がない	・離床ができる			・退院指導の内容を理解できる ・創部の腫れ、発赤、熱感などの感染徴候がない	・定期的に受診をしてください ・痛みがある際は、痛み止めを内服し、安静にしてください ・シャワー浴の際には、抜糸までは傷が濡れないように、シーネ全体をビニールで保護してください。抜糸後は、創部を泡立てた石鹸でなでるように洗い、シャワーで流して押さえ拭きしてください ・重いものを持たないようにしてください ・シーネが外れるまでは、三角巾を使用してください ・次回外来受診時に、車の運転や仕事、スポーツがいつから開始できるかを、医師に確認してください
内服	・薬剤師が、持参薬および服薬状況について確認します	・指示された薬のみ内服します		・痛み止めと胃薬を1日3回、毎食後に内服します（7日間）				
手術		手術 						
注射		・手術が2番目以降の方は病棟で点滴をします 		・点滴を抜きます				
検査	・身長・体重測定						・採血(手術後7日目) ・体重測定(退院日) 	
処置		・弾性ストッキングを着用します	・フットポンプをつけます	・医師の許可後、フットポンプを外し、弾性ストッキングを脱ぎます				以下の症状がある時はご連絡ください ・38.0度以上の発熱 ・関節周囲の急激な痛み ・痛み止めを飲んでも痛みが取れない ・創部の腫れや熱感
			・手術室で尿の管を入れます	・尿の管を抜きます				
			・手術室で膝の創部にドレーン(管)を入れることもあります	・ドレーン(管)を抜きます				
			・心電図、酸素飽和度モニターをつけます	・心電図、酸素飽和度モニターを外します				
			・肘シーネと三角巾をつけます ・膝の装具(ニープレス)を装着します					
食事	・夕食後は、指示された時間から、飲食はできません	・指示された時間までは飲水できません ・食事はできません 	・手術後3時間は絶対飲食です。その後、飲水から始め、医師の指示で食事が開始となります	・制限はありません				
活動・安静	・制限はありません	・病室内でお過ごしください	・ベッド上安静です ・排便是ベッド上で行いますので、ナースコールでお知らせください	・車椅子に移乗できます ・排泄はトイレで行います 	・ドレーン抜去後、松葉杖で歩行できます。ただし、ニープレスは、医師の許可があるまでは、装着したままです。痛みがある場合は、看護師がニープレスを緩めるなどの調整をします ・初めて歩くときは看護師が付き添いますので、ナースコールでお知らせください			
清潔	・シャワー浴をしてください 	・洗面、歯磨きを済ませてください	・洗面、歯磨きを介助します	・身体を拭きます 	・創部をビニールで保護してシャワー浴ができます ・抜糸が終わるまでは、ビニールで創部の保護をします			
リハビリ				・リハビリテーションが始まります 				
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が手術の説明をします ・手術室の看護師が、手術に伴う確認や諸説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・転倒転落予防について説明します ・深部静脈血栓症予防について説明します		・手術後、医師の説明があります 				・退院後の生活について説明します ・薬剤師が、退院後の薬剤について説明します(退院日)	
その他	・同意書は職員にお渡しください ・手足の爪を切り、マニキュアは落としてください ・化粧は落としてください ・深呼吸の練習や、体重をかけずに車椅子に移る練習をします ・手術に必要な物品を確認します【必要物品】 ・おむつ1枚　・スプーン(必要時) ・曲がるストロー又は楽のみ ・リハビリテーションで着用する靴やズボン	・手術衣に着替えます ・義歯、コンタクトレンズ、時計、アクセサリ等は外し、各自保管してください。メガネと補聴器は必要時、手術室までつけていきます ・貴重品は、ご自身又はご家族で管理してください ・ご家族は、2階デイルーム・面談室で待機してください。場所を移動される時は必ず職員へお声掛けください	・痛みがあれば鎮痛剤を使用しますので、我慢せずにお知らせください ・必要時は杖を貸し出します	・深部静脈血栓症を予防するために、足首の反り返しや膝の曲げ伸ばしを行ってください 			・病棟スタッフが、退院処方の必要性や処方の確認を行います(退院日)	 なんでも ご相談 ください 

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。